

DOYOレター

2026
JANUARY

ごあいさつ

感謝を込めて。そして、さらなる成長を目指して。

皆様、大変ご無沙汰いたしましたが、新しい年を迎える度ようやくNPO法人日本国際童謡館発行のDOYOレターを再開致します。

令和2(2020)年秋号を最後に新型コロナウイルスの流行をきっかけに発行停止の5年間に、NPO法人日本国際童謡館の活動は出逢いと別れを繰り返し大きく変動しておりました。

大きな変化はやはりボニージャックスとの再会だったと思います。

3人となったボニージャックスのマネジメントをするようになってから様々な出来事がありました。

昨年2025年には玉田元康さんと吉田秀行さんの2人となり、新生ボニージャックスとしてさらなる出発をしました。

同時に玉田元康さんが御年90歳でキングレコードから人生初のソロCD「男たちの子守り歌」を発表し、ソロデビューに関連して様々な媒体で紹介されました。特に「徹子の部屋」への出演は私たちにとって大いなる喜びでした。

また大庭照子館長から「仕事と思って行け！」と言われております母校フェリス女学院中学校高校同窓会の活動もコロナ禍での150周年から5年間に大きな事業を成し遂げることができ、大庭館長の発破がなければ結果は違っていたのではないかと密かに考えております。今まで大庭照子館長のアイディアで様々な企画を開催して参りましたが、大庭館長はDOYOレター休止中の5年間でさらに濃密なアイディアがスピード一気に沸き起こるようになりました。その影響は各地の地域文化交流の発足をうながし、日本国際童謡館と共に手を取り合い、労力を分担しながら活動する仲間の誕生につながっています。

昨年までは新しい結びつきに右往左往しておりましたが、今年の本年は皆で疾走して参りたいと願っております。

どうぞ本年も皆様の暖かいご支援とご鞭撻のほど、よろしくお願ひ申し上げます。



NPO法人日本国際童謡館理事長 高田真理

ボニージャックス

玉田元康

2026年。ボニージャックス結成から67年目になります。私は92歳になります。

大町正人のリタイヤで途中参加の吉田秀行は、長年ハーモニーを埋める内声を遠慮勝ちに歌ってきた癖が抜けたのに時間を要しましたが、ここへ来て、大庭さんの発破もあり、持っている本来の声で高らかにうたうようになりました。私も圧倒されそうです。切磋琢磨しながら、新生ボニージャックス、新たな高みに向かって力強くあゆみます。

私のことで言えば、昨年は一大変革の年でした！

大庭さんの発案と叱咤勉励で、90歳からのソロデビューアルバムの話が持ち上がり、それにキングレコードの強力なアクセルが加わり、あれよあれよの展開で3月にリリースされました。お陰様で今まで見たことのない景色が目の前に有ります。健康に恵まれたことに感謝しつつ天国の仲間の分まで頑張ります。



ボニージャックス

吉田秀行

新しい年を迎え、皆様におかれましては、ご清祥のこととお慶び申し上げます。

旧年中は温かいご支援を賜り、誠にありがとうございました。

多くの会場へ足をお運びいただき、皆様に支えられた一年でございました、あらためて深く感謝申し上げます。

2026年は「飛躍」と「前進」を胸に、より心に響く音楽をお届けできるよう、一つひとつの舞台を大切に精進してまいります。

特にボニージャックスに加入する前にカンツオーネ、シャンソンを歌つていた当時を振り返ります。

大先輩の玉田元康さんに負けないようソロにも挑戦します。

本年も何卒よろしくお願ひ申し上げます。

皆様の一年が健やかで実り豊かでありますよう、心よりお祈り申し上げます。



抱 負

共にめざそう喜びを！ 皆様とともに



87歳の新年を喜びと感謝の中で迎えることができたことを心から嬉しく思っております。この喜びは、一言では言えないほどですが、大庭音楽事務所、日本国際童謡館の歴史を40年の長きにわたって支えてくれている高田真理理事長の存在があつてこそです。

また、それぞれの環境のもと、家庭を築きながら、童謡館の理念を理解し活動を継続してくれている、矢部清子、星野ひな子両理事には心から感謝をしています。私は30歳の時に、シャンソン歌手として、ボリードルレコードからデビューしています。

今年は、その原点に立ちたいと言う強い思いが湧き起きました。

その思いは、玉田元康さんのソロデビュー、新生ボニージャックスの新たな出発を企画したのがきっかけです。

もちろんこれから多くの方々との出会い、ご縁をいただきながら、Bee-damaの小林俊介、順子さんのお力を借りて、新生ボニージャックスとともに楽しい企画をと夢を広げておりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

NPO法人日本国際童謡館館長 大庭照子

ご 報 告 ①

祝 あらためて副館長就任

長年、日本国際童謡館の専属歌手としてまたNPO法人の理事として大庭照子館長のもと阿蘇からの風童謡運動をともにけん引してきました矢部清子さんが南阿蘇にあった日本国際童謡館につづき、再び2026年副館長に就任することになりました！皆様の益々のご支援をよろしくお願ひ致します。

副館長・理事

矢部清子



新しい年が明け、皆様はいかがお過ごしでいらっしゃいますでしょうか。

昨年は、子どもの受験を控えお正月返上で家族一致団結ワンチームとなって取り組み、お仕事もセーブさせていただきました。

出産後、大庭照子館長から、授乳時はくれぐれもスマホを見ながらではなく子どもの目を見つめながらですよ。そして、3歳になるまでは家庭で見守ができるならしっかり子育てに取り組んでくださいとの教えがあり、受験のためにお仕事をセーブすることにも理解していただき感謝しております。

お陰様で無事に乗り越え、次の目標へと張り切っているところに思いがけず「副館長」の肩書をいただき、あらためて大庭館長の理念をしっかりと伝えていけるよう頑張りたいと思っております。

また、茶道 肥後古流を一般社団法人熊本県芸術文化振興会の吉丸良治理事長の奥様に習ったことから、せっかくなら茶道を続けたらどうですか。との館長のアドバイスで、お友達のお母様にご指導いただいています。童謡・着物・茶道と日本の大切な文化を残していくよう、今年も取り組みたいと思います。

本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

ご 報 告 ②

事務所設立！

矢部清子さん同様、日本国際童謡館の専属歌手としてまたNPO法人の理事として阿蘇からの風童謡運動を山梨県内で展開している星野ひな子さんは、昨年自分自身の事務所を設立しました！

皆様の益々のご支援をよろしくお願ひ致します。

専属歌手・理事

星野ひな子



昨年は、生活介護事業所の正社員となり、歌の方では『星野ひな子音楽事務所』を立ち上げたりと、大庭館長をはじめ、沢山の方々に支えていただきました。

特に地域文化交流山梨の小林芳子さんには、山梨県内で開催するコンサートを全面的にサポートしていただいております。本当に感謝しております。

まだまだ至らないことばかりでご迷惑をおかけしておりますが、本年も初心を忘れずひとつひとつ丁寧に取り組み、少しでも皆さまの元気や癒しとなり、ともに笑い、ともに感じるときを大切にしながら活動していきたいと思います。

本年も変わらぬご支援・ご声援のほど、どうぞよろしくお願ひ致します。

ボニージャックス＆早稲田大学グリークラブ ジョイントコンサート

2026年1月31日（土）13:30開場14:00開演

早稲田大学大隈記念講堂

入場無料（整理券必要）

共催 早稲田大学グリークラブ・NPO法人日本国際童謡館



阿蘇からの風